



CONCEPT

UGLERS

今回の設計はUglers（アグラー）というスポーツバー兼宿泊総合施設です。Uglersとは英語の造語で、Under ground level peoples 意味はアンダーグラウンドで夜更かしている人々です。

大学院の二年間で、「share」というキーワードを中心に研究を進めました。去年は数人で一つの建物をシェアすることを研究しましたが、今年はより広い範囲と意味、都市、生活、趣味などの中にある「シェア」という言葉をとらえ、研究を展開しました。

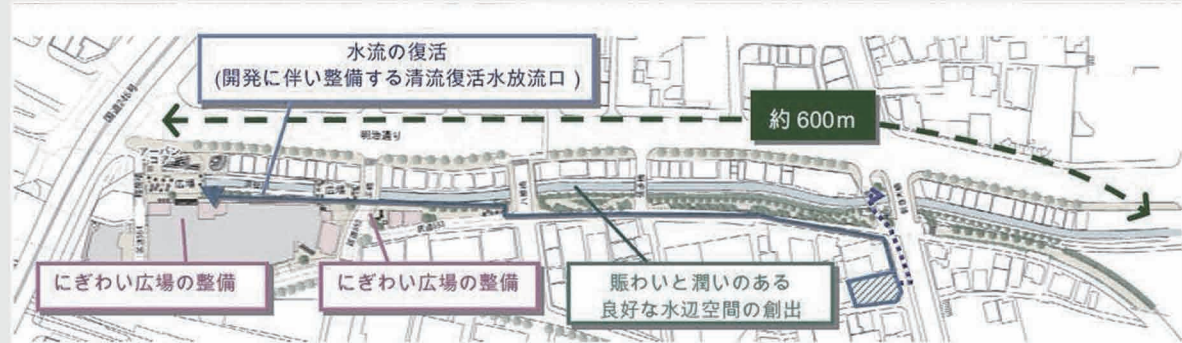
2年目の研究の展開として、私は感動をシェアするための空間を設計することにしました。人を感動させるものといえば、書籍、映画、音楽など様々です。その中で、スポーツには永遠の魅力があると感じました。

いいスポーツは映画のように、人のこころを感動させることができます。素晴らしい試合は忘れられない。ただゴールや逆転の瞬間を見るだけではなく、どのような環境で、誰と一緒に見たのかも忘れられない。試合が終わった直後、その感動を誰と共に分かち合ったのか、その興奮はどれほどのものだったのか。ここに残る感動は、何年あともなっても誰かに話して聞かせたいくなります。スポーツバーで観戦することの興奮と感動は、スタジアムへいく以外の唯一の選択となります。

しかし、現代生活と時差の原因で多くの海外試合はバーで見るのが難しくなっています。深夜帰宅して、盛り上がる気持を抑えながらスポーツを見るより、都内で試合前後の空き時間を利用して、仮眠を取りながら、何も気にせず多い盛り上る環境で試合を見ることのほうがより豊かな生活となるのではないでしょうか。



渋谷駅再開発計画地区



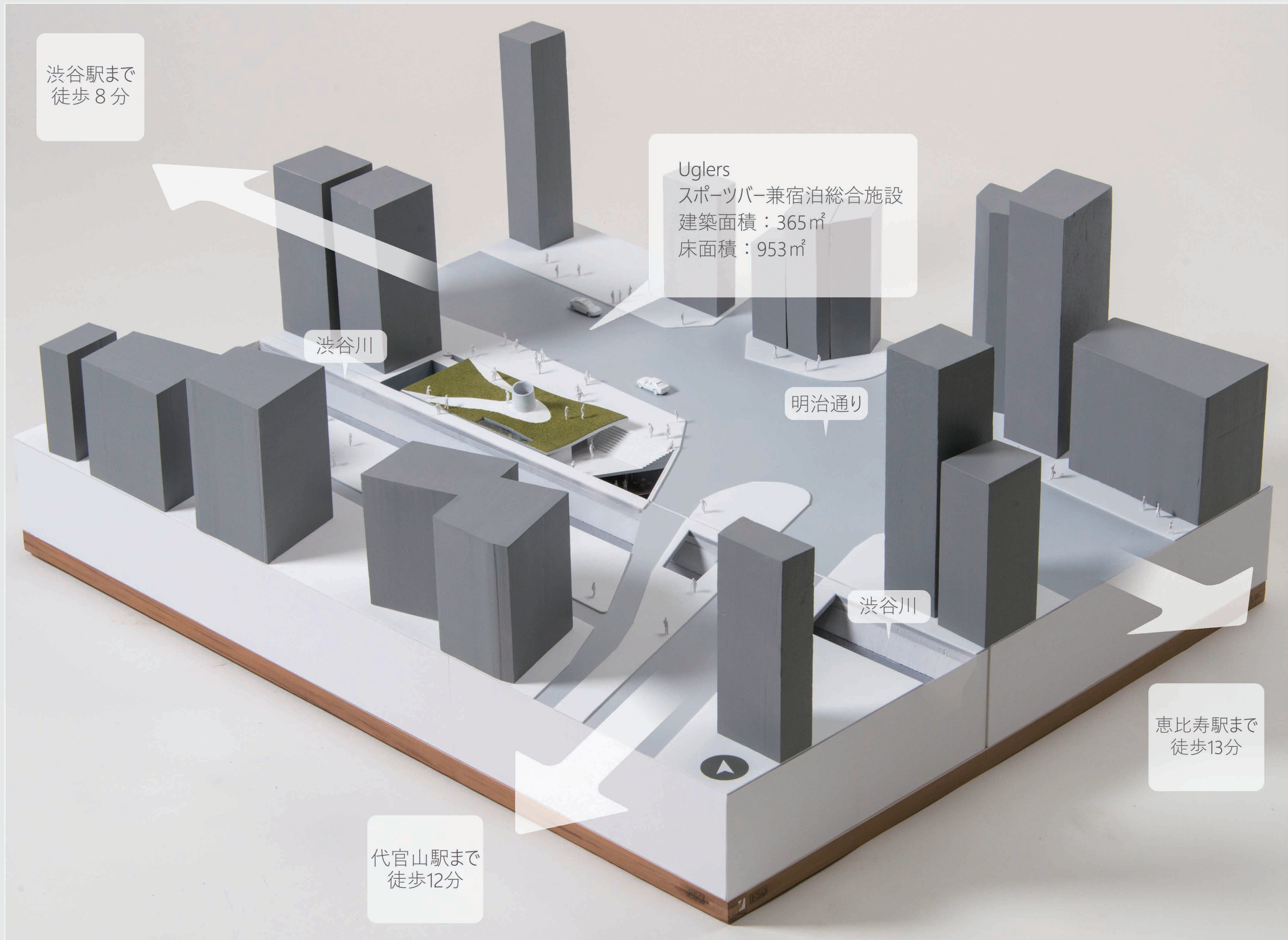
渋谷南街区プロジェクト

LOCATION

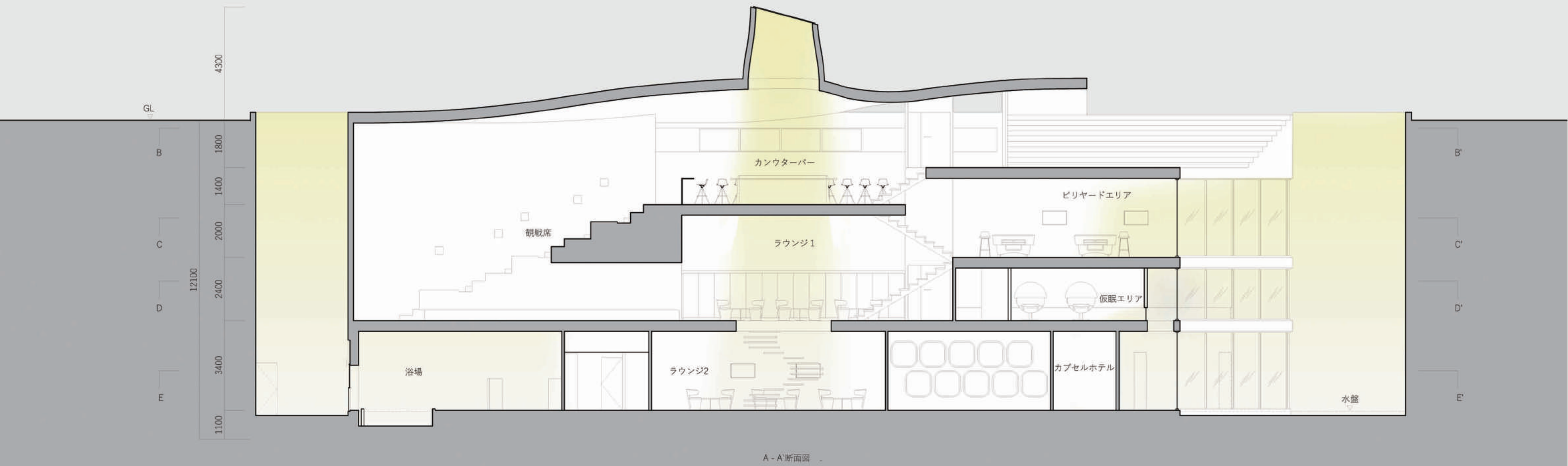


敷地は、渋谷3丁目にある渋谷川と明治通りに挟まれた角地です。そこは渋谷駅再開発計画（南街区）の端部でもあり、代官山や恵比寿方面への接合地点にもなっています。建築は完全に地下にして、地上部分は都市のポケットパークとして計画することで、建築以上の役割を果たすような、都市に開かれた場所をデザインできないかと考えました。

さらに、渋谷駅周辺で唯一地上に顔を出している渋谷川で、並木橋周辺まで賑わいと潤いのある良好な水辺空間を創り出す渋谷南街区プロジェクトがあり、この場所はこの“渋谷のオアシス”で人がたまれるところになります。高い壁がなく、交差点のどこから見ても視線が抜け、地域の視野を広げます。このデザインは敷地が持つ景色をシェアしています。



PLAN



建築面積は365㎡あり、両側に吹き抜けと、中心に二つの天窗を設け、光を建築内部に取り入れるようにしました。上層はスポーツ観戦ができるバー、中層が仮眠エリア、最下層は浴場とカプセルホテルです。バーは地上から続くイメージを取り入れ、明るい、自然の素材を使用し、レベルが深くなるほど仕上げには濃く、無彩色でシンプルな素材を使い、落ち着いた雰囲気をつくります。浴場の西方面の吹き抜けからは芝生が見え、カプセルホテルから、東方面の吹き抜けに出ることができます。このふたつの吹き抜けのデザインで最下階にいる人が地下の閉鎖感を感じることなく、むしろここでしか感じるることのできない特別な空間にいるような体験ができます。



カウンター
入口から近く、気軽に入って、話しながら試合を見れるところです。



ビリヤードエリア
落ち着いたビリヤードをしながら静かに試合を見れるところです。東の面は全面ガラスで、自然を取り入れ、スポーツバーで盛り上がる雰囲気の中試合を見ることが以外に、もう一つ違う雰囲気をもつ空間を提供します。



ラウンジ 1
建築の中心にあり、休憩、入浴する前のスペースです。ロッカーを設け、試合が終わり、盛り上がっている気分を持ったまま、ラウンジでしゃべりながら、休憩、入浴の準備ができる空間を提供します。



仮眠エリア
試合前後、服を脱がず、ちょっと仮眠ができる空間です。Energy podというマシンを導入し、より効率的に睡眠をとることができます。



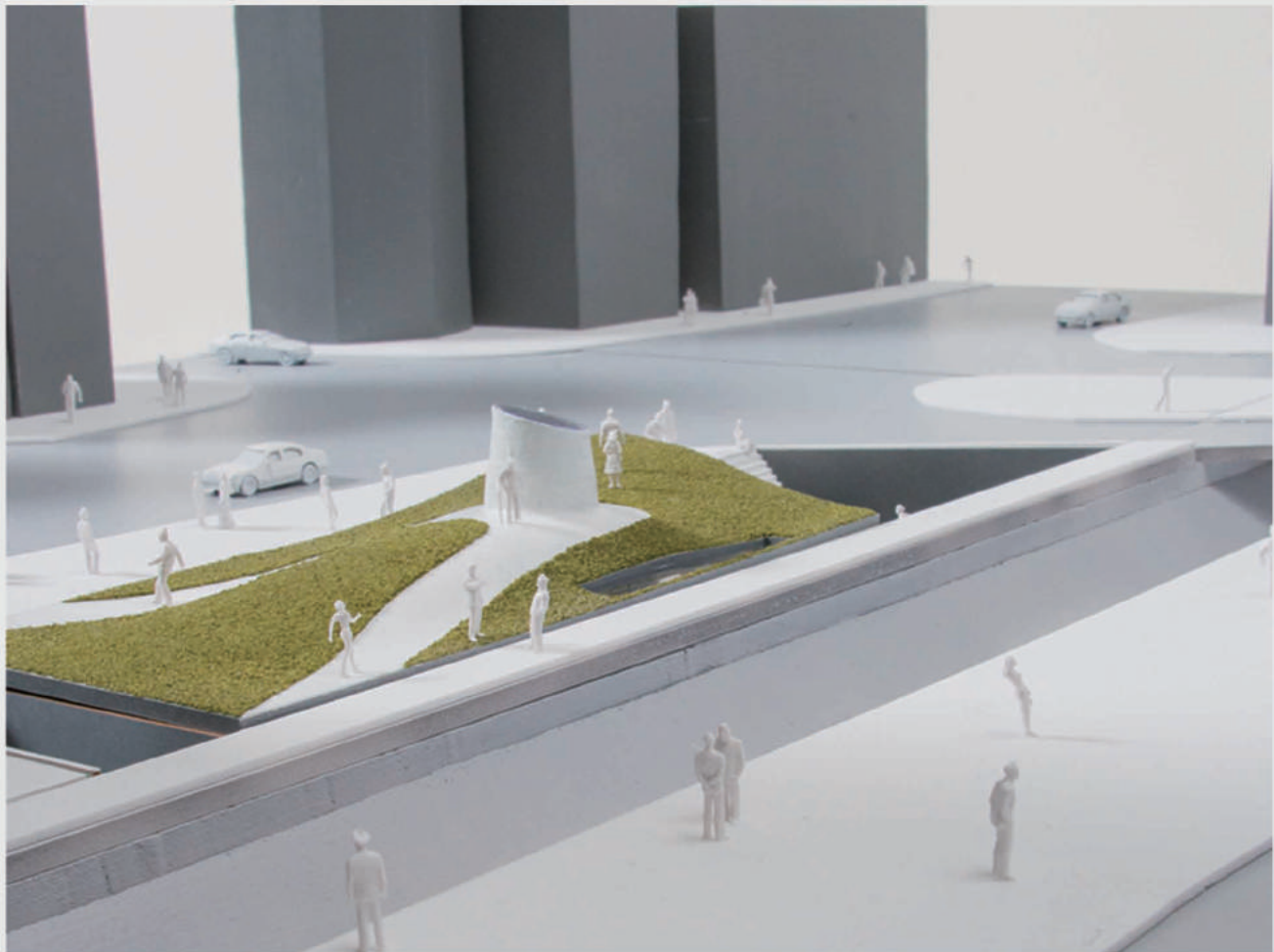
ラウンジ 2
浴場とカプセルホテルの間にあり、風呂上がりに一番リラックスした状態で、雑誌を読んだり、テレビを見たり、雑談したりすることができる空間です。



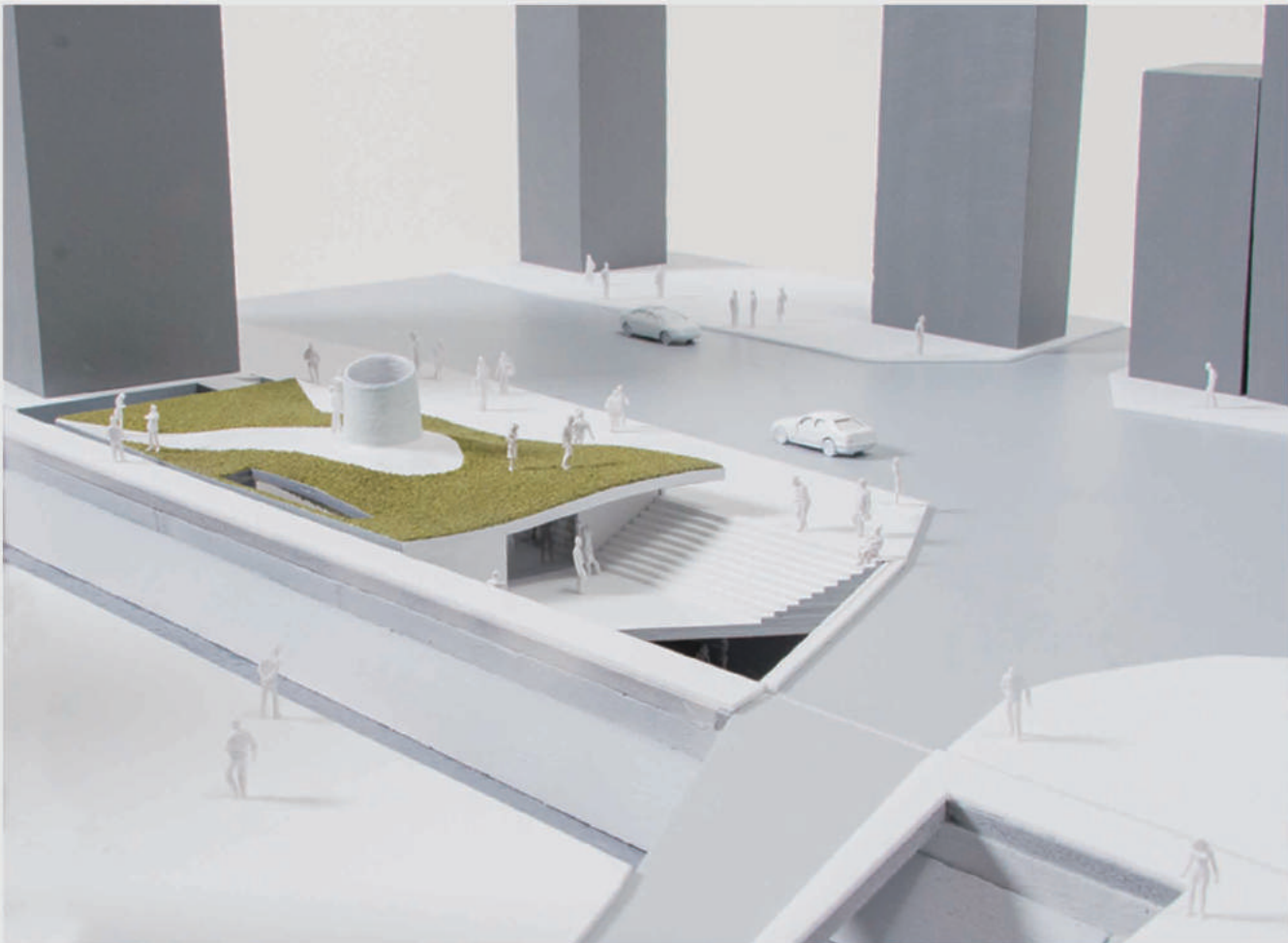
お風呂
建築最下層の西方面にあり、吹き抜けからは芝生と光が見え、都心部に自然を感じられる贅沢な浴場です。



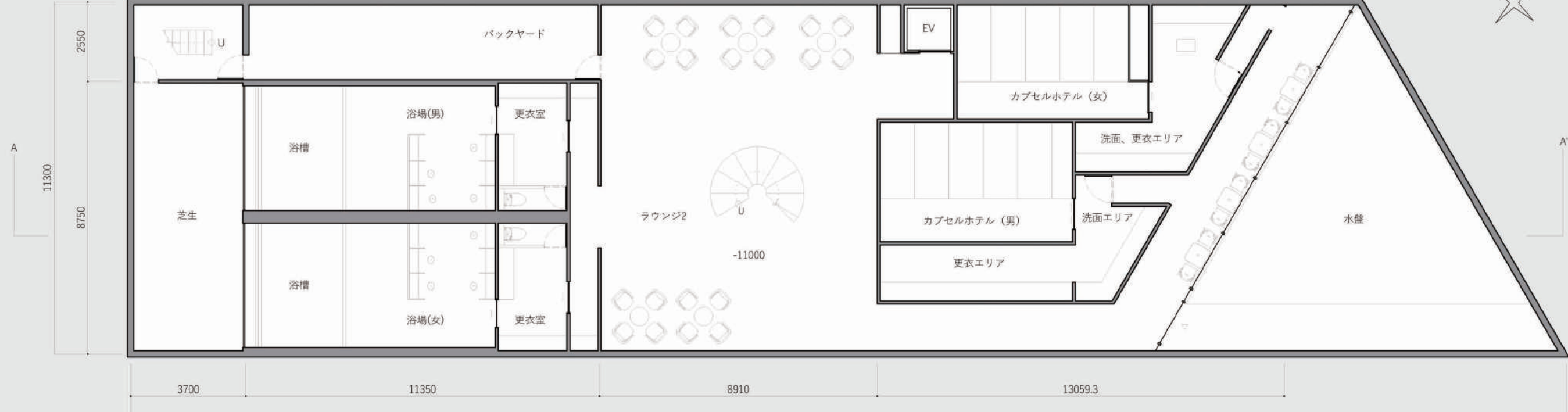
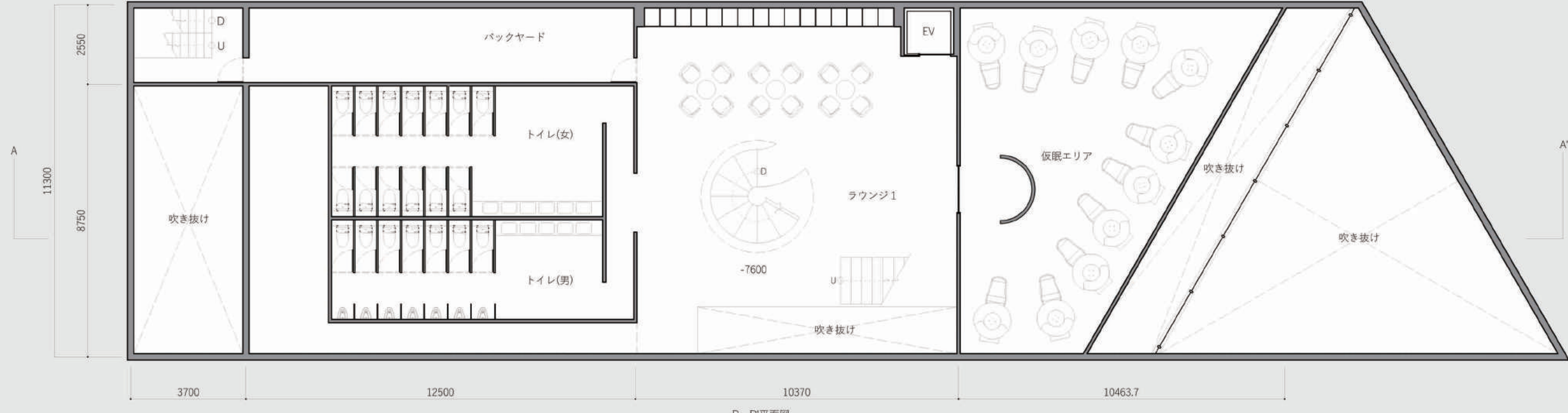
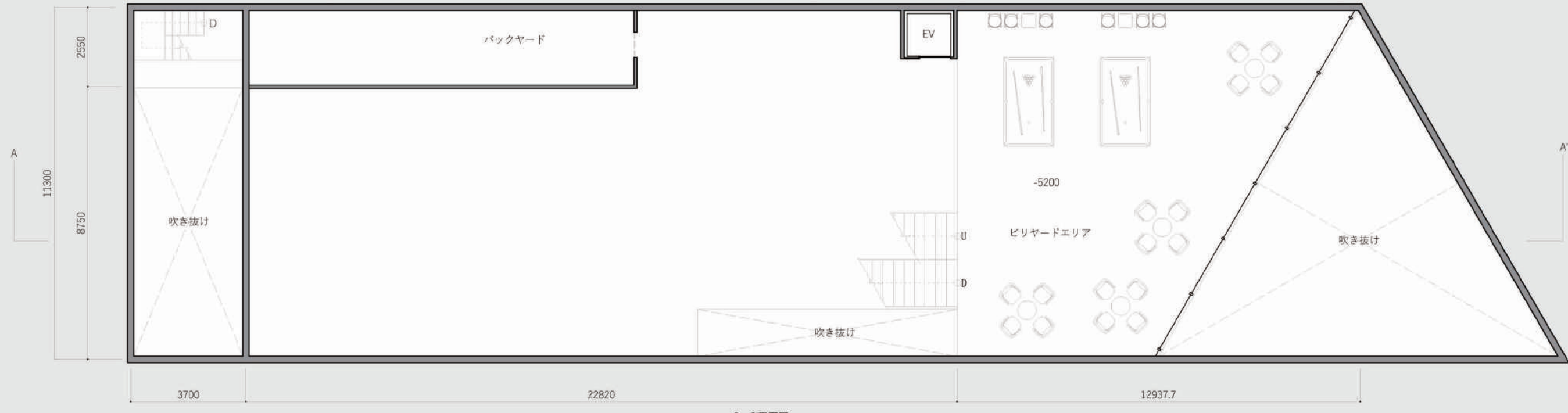
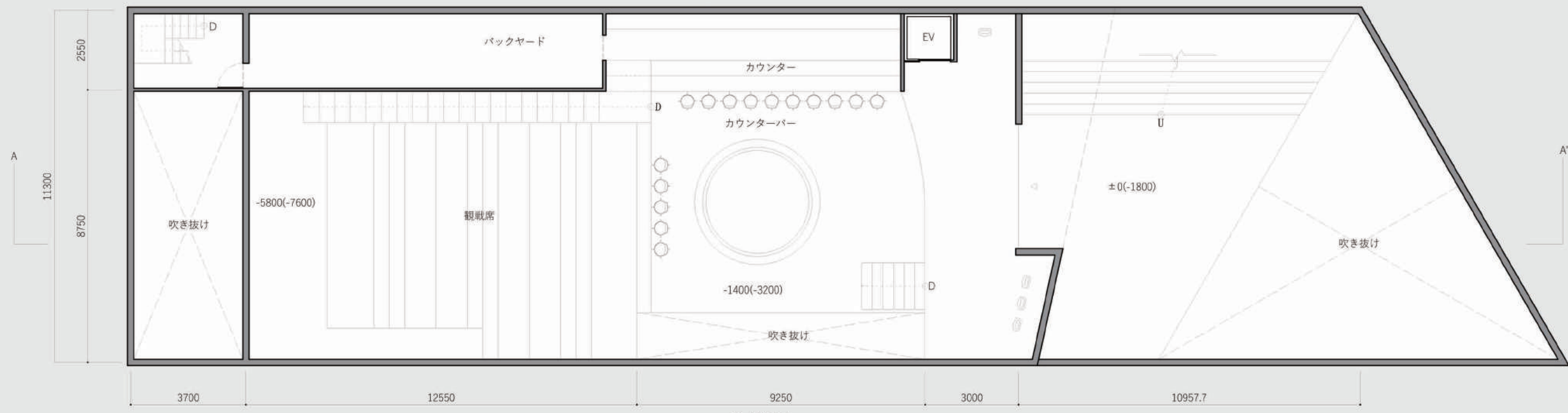
カプセルホテル
建築最下層の東方面にあり、きちんと睡眠を取れる場所を提供します。出入口は東の吹き抜け側に設け、水盤からの反射が三角形の吹き抜けにきれいに映り、寝起きの人が自然の光と時間を感じることができます。



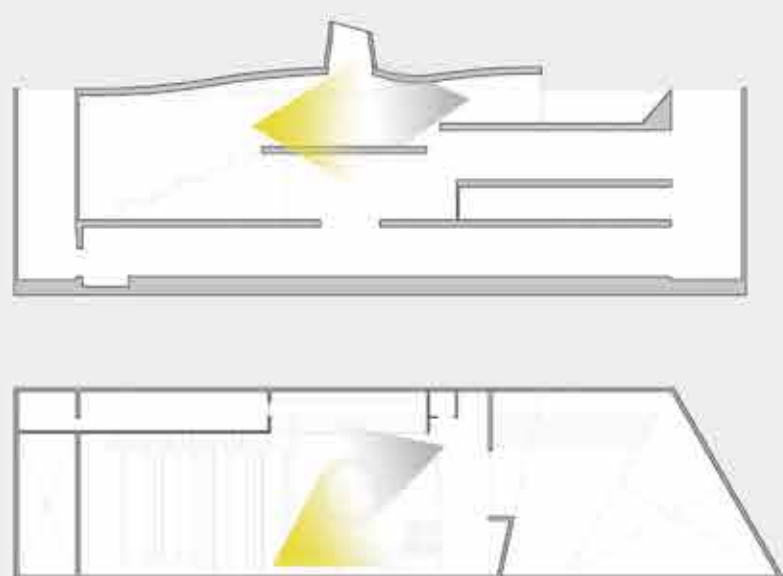
屋根は公園としての機能があり、この場所が、目的がないと来れない場所ではなく、渋谷という土地において、緑がほしい、もっと簡単な気持ちでこの建築に近づくことができます。より自然的なものを組みとれる。地下化することにより、少し膨らんだ形をしても視界が抜け、周囲をより見渡すことができますが、この建築としての存在感は保ちます。屋根から伸びる吹き抜けが、この街の新しいランドマークとなるでしょう。



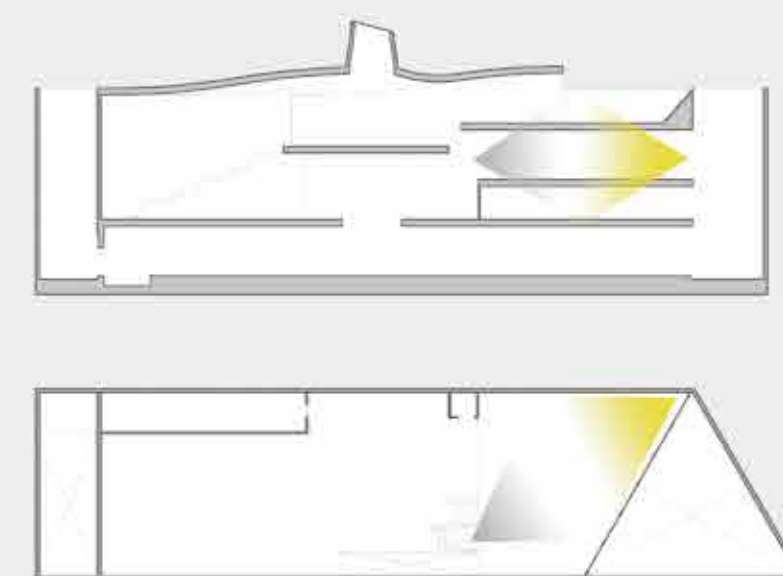
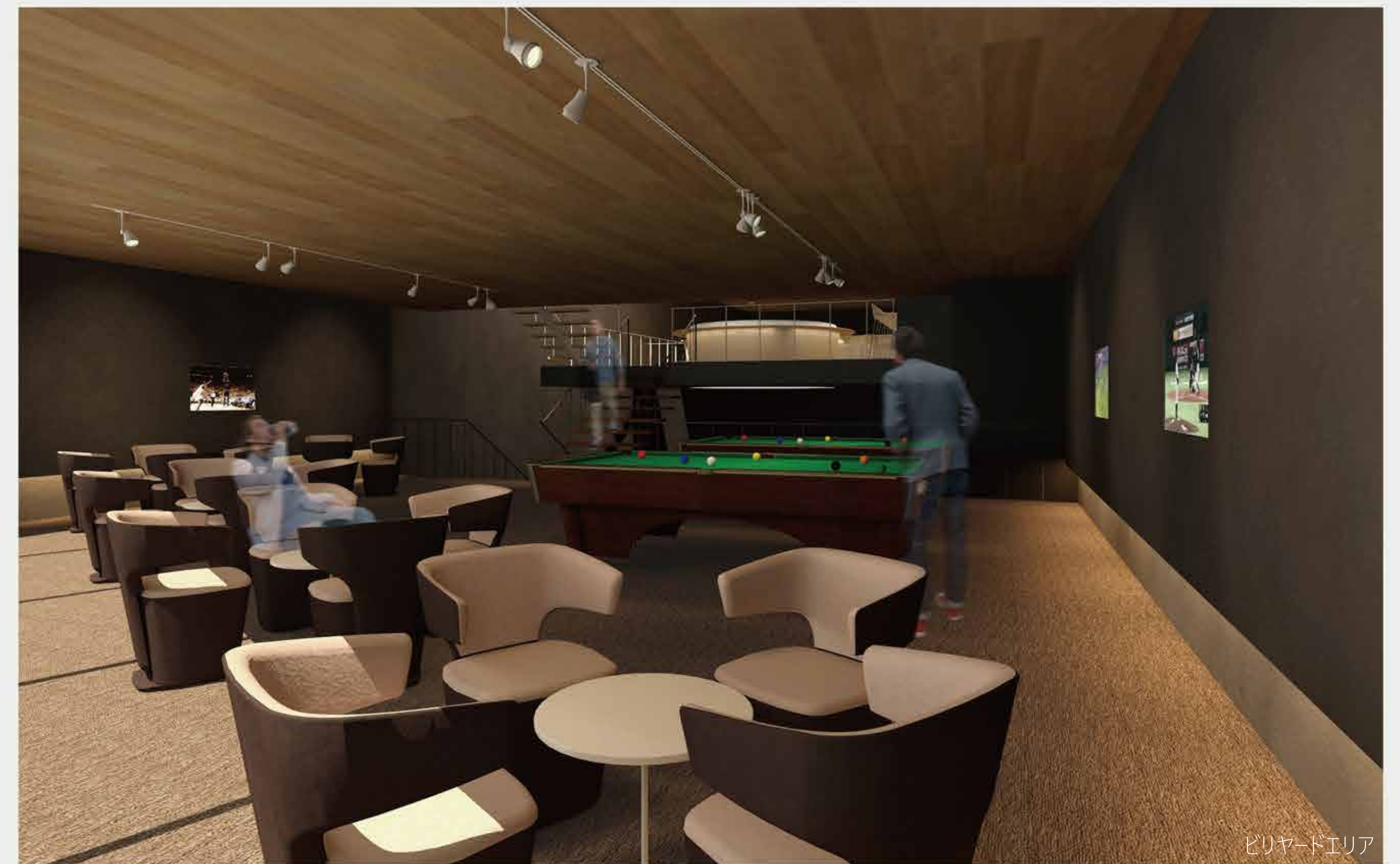
PLAN



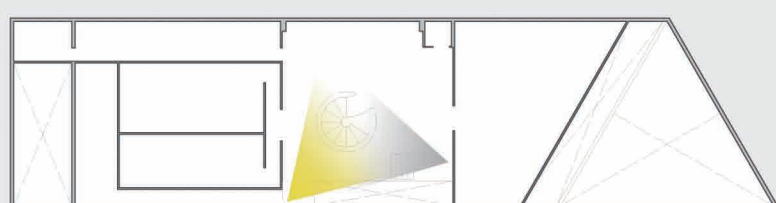
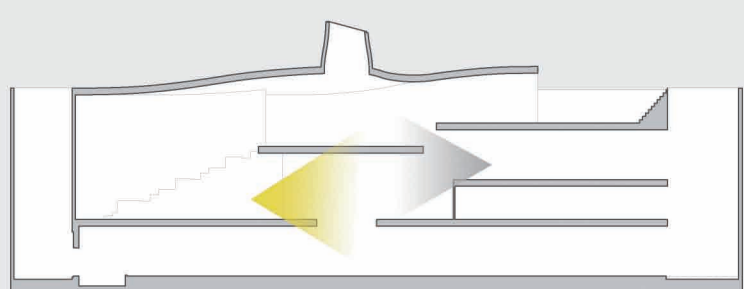
INTERIOR



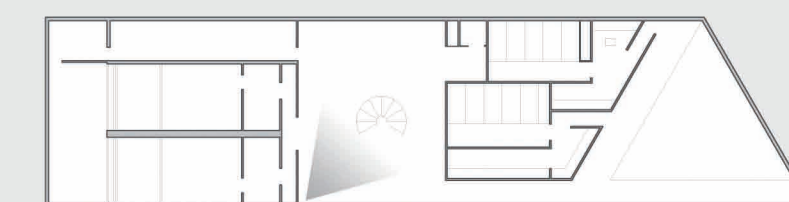
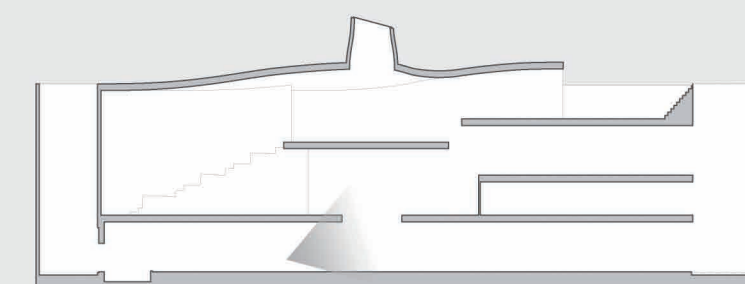
INTERIOR



INTERIOR



INTERIOR



私はスポーツには永遠の魅力があると感じています。私が年を取ったとき、時々孫を膝の上に座らせて、若い時に見た忘れない試合を孫に教えるでしょう。

あの伝説な試合はどのようなだったか、
あの瞬間、選手がどんな信じられないプレーをしたか、
あの日のパーはどんな雰囲気だったか、
何杯の生ビールを飲んだか、
誰と何を話したか。
逆転の瞬間、隣にいる知らない人と抱き合って叫び、
どれほど感動したか・・・

渋谷の土地にこの建築が建つことによって、スポーツによる感動がより大きなものとして存在し、現代に生きる人々にとって、生活がより豊かで、よりすばらしく、より忘れられない思い出を作れるものになればいいと思います。